

広報

あまぎ



スポーツ愛ランド

2019

No.505 平成31年

3

# 平成31年度施政方針

平成31年第1回天城町議会定例会が3月5日に開会し、森田弘光町長が平成31年度の町政運営について施政方針演説を行いました。その全文を掲載します。

## はじめに

本日、平成31年第1回天城町議会定例会が開催されるにあたり、町政運営の基本方針と施策の概要をはじめ、町政運営の基本となる平成31年度予算案を申し上げ、議員各位及び町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。この度、昨年12月2日に執行されました町長選挙におきまして町民の皆様や各方面からの力強いご支援を頂き、本町の舵取り役を任せただくことになりました。町長という重責を担うこととなり、大きな喜びと同時に身の引き締まる思いでございます。

今年4月30日に天皇が退位し、5月1日に皇太子が新天皇として即位されます。「平成」の時代が終わり、新しい元号の時代が始まる、新時代到来の年となります。

す。

また、奄美群島振興開発特別措置法の法延長について閣議決定されたところです。現在国会で審議されており、奄美群島においては、法延長が成立されましたら、新たなステージが始まる年となります。

本町におきましても、「住んでよかった。暮らし満足度ナンバーワンのみち」を目標に掲げ、新時代にふさわしい、未来世代へ誇れる天城町を目指してまいります。そのために5年10年先を見越したビジョンを明確に描き、本町の将来を見据えた基本構想を策定してまいります。町民の皆様の声に真摯に耳を傾け「現場第一主義」「公平無私」の心で粉骨砕身、町政運営に取り組んでまいります。以下、マニフェストで掲げた重要施策に基づきご説明申し上げます。

## 1 平土野港多機能港湾 新設の実現

平土野港は空港から市街地へのアクセスルート上に位置し、地域振興の観点も視野に入れた島外者の集客、滞留を促すことが可能な立地条件にあります。平土野港を徳之島の物流の拠点と大型クルーズ船の寄港地の両面の機能を備えた多機能港湾として整備するため、平土野港多機能港湾新設期成同盟会(仮称)を設置し、国・県への要請活動を実施してまいります。また、空港から平土野地区が一体化した環境整備を進めながら、かつての賑わいのある町づくりを目指してまいります。

本町の農業は、サトウキビやバレイショをはじめとした畑作物と、肉用牛および果樹等を中心とした施設園芸作物など安定した農業経営が展開されております。

## 2

農業・水産業の持続的発展による  
経済の活性化及び所得の向上

農業の生産振興につぎましては、平成31年度も土づくりと栽培暦を基本に、農家所得の向上と足腰の強い農業経営の確立に向け、サトウキビ・肉用牛・バレイショの主要三品目などにおいて国の補助事業等も活用しながら安定した生産が図られるよう、施策を展開してまいります。

平成30年産のサトウキビ生産量は、本町においては5万7千トン、徳之島三町では約14万9600トンを見込んでおります。昨年の台風24号被害の影響を受け単収が低下し、甘蔗糖度も低い状況にあります。さらには甘味資源作物交付金がトンあたり210円引き上げられたところですが、原料価格が380円ほど安く、実質のキビ単価は171円減少しております。今後、奄美群島さとうきび価格対策協議会等で協議し農家手取り価格の確保を要請してまいります。

平成31年度においては、現在実

施しているさとうきび増産基金事業と国の補正事業の成果を発現できよう、土づくりに対する意識

醸成と植付面積及び収穫面積の確保、そして適期肥培管理作業の徹底や畑かん利用の推進で単収向上と増収を図り、地域経済を支えるサトウキビの生産振興に取り組んでまいります。

肉用牛につきましては、依然として平均70万円を越える子牛価格で推移し、生産牛は自家保留導入奨励事業の効果もあり年々増加してきており計画的な頭数確保がなされてきております。課題としては、セリにおける個体間の価格差が広がる傾向にあるため、飼養管理技術の徹底に努め、商品性の向上を図ってまいります。

平成31年度は粗飼料生産確保に重点を置き、嗜好性と栄養価の高い品種の検討と普及を図ってまいります。また、引き続き監視カメラの導入助成を実施し、出産に係る事故を防いでまいります。さらに畜産クラスター事業による基盤整備で省力化と規模拡大を推進し、生産性と収益性の向上に取り

組んでまいります。

園芸作物におきましては、「かごしまブランド産地」として定時・定量・定質の安定出荷に努め、信頼される産地づくりを確立してまいります。土づくりを基本に病害虫防除を励行し栽培面積の拡大と単収向上に取り組んでまいります。

特にバレイシヨにつきましては、価格低迷が続いておりますが、安定した面積の作付けがなされ、今期生産量は約5千トンを見込んでおります。また、近年栽培面積が増えてきている実エンドウについて、栽培資材助成を行い産地づくりに努めてまいります。

また、新技術の普及と労働軽減に取り組むため、実証実験を実施し農業創出緊急支援事業のスマート農業の推進に努めてまいります。

担い手の確保につきましては、農業センターにおける研修を通じて地域を担う人材を育成し、新規就農者の確保にも取り組んでまい

ります。また、人・農地プランと農地中間管理事業による担い手の明確化で地域農業の維持・発展に努めてまいります。

食育・地産地消につきましては、農業センターでの農業塾や技術セミナーを活かした野菜や花づくりの実践と、年2回開催する苗もの市で家庭菜園の普及を図り、自給野菜の確保に努めてまいります。また、農地・菜園を持たない家庭を対象に、農業の魅力を体験してもらうため、農業センター内に市民農園を設置いたします。

農産加工につきましては、加工センターの充実と利用促進を図るとともに、既存商品を一段と優れたものにするための見直しや、新商品開発の支援を行ってまいります。

直売所につきましては、旧農政局舎を活用した旬な新鮮野菜や加工品の販売を試行的に開設いたします。そして近い将来総合的アンテナショップとしての機能を持つ農・海産加工物直売所を整備し、地域経済の循環を加速させてまい

ります。

鳥獣被害対策につきましては、捕獲と被害対策の両面から作物被害の軽減に努めてまいります。また、昨年オープンした「山猪工房あまぎ」につきましては、流通販売の確立と、加工品の開発、ジビエ料理の普及に取り組んでまいります。

林業につきましては、松くい虫対策として伐倒駆除、枯損木の伐倒、樹幹注入を実施いたします。また、イタジイなどの島内産材の利用促進を図るため、木のあふれる街づくり事業を実施いたします。特用林産物の生産については、平成30年度に農業センターで「シイタケ栽培」の技術セミナーを開催し好評を得ました。今後は生産振興に向けて取り組んでまいります。

農地基盤整備につきましては、平成30年度現在で、整備率は84.5パーセントとなっております。引き続き、西阿木名地区において、畑かん事業と併せて26.8ヘクタールの区画整備を

実施するため、平成30年度に圃場設計や換地計画の作成を終え、平成31年度からの着工を見込んでおります。

県営畑地帯総合整備事業につきましては、畑かん工事を9地区実施するとともに、一部地域で土層改良事業を実施いたします。また、平成31年度に48ヘクタールの圃場にスプリンクラーの導入を予定しております。なお、精算事務未処理地区につきましては3地区完了いたしました。今後も継続して事務処理を行ってまいります。

新規事業といたしましては、平成31年度より4年間、農業基盤整備促進事業中部地区を整備いたします。初年度は、農道300メートルの整備を予定しております。多面的支払交付金事業につきましても、農地、農道、水路、沈砂池等の維持管理を推進してまいります。

地籍調査事業につきましては、平成30年度現在で、28.9パーセントの進捗率となっております。平成31年度は、岡前・瀬滝の各一部37ヘクタール及び、平成30

年度継続地区として浅間・天城・瀬滝の一部28ヘクタールを引き続き進めてまいります。

商工業につきましては、商店街の活性化を促すために、わっきゃが広場や空き店舗を活用した様々な取り組みを支援してまいります。地元消費拡大対策として引き続きプレミアム商品券補助事業費として300万円を継続し、消費購買の町外流出防止や地元消費の拡大を図ってまいります。

また、訪日外国人旅行者に対応するためにキャッシュレス推進に向けて取り組んでまいります。水産業につきましては、鹿児島大学水産学部との連携をさらに発展させ、地域おこし協力隊を活用しながら、水産振興に積極的に取り組んでまいります。

国の広域漁場整備事業による大型漁礁及び離島漁業再生支援交付金事業の活用による浮漁礁設置で漁業者の就労意欲を高めるとともに水産業の活性化を図ります。町単独事業の

水産業活性化推進事業を拡充して燃料費助成を行い漁業者の所得向上を図り、後継者育成に努めてまいります。

また、「うるおいと活気に満ちた漁港・漁村づくり」のために、松原漁港水産物供給基盤機能保全計画に基づき、施設の機能強化と維持に努めてまいります。そのために、松原漁港の内防波堤及び導流堤の保全工事を行ってまいります。

観光業につきましては、世界自然遺産登録を見据えた人と自然が共生する癒しの観光地づくりを継続して進め、多様化する観光ニーズに対応した奄美群島周遊型観光を推進し、観光PRや情報発信を積極的に行ってまいります。平成31年度はすでに3回のクルーズ船の寄港が予定されております。今後、定期的な寄港と外国籍クルーズ船の誘致活動に引き続き取り組み、クルーズ観光による活性化に繋げてまいります。

平成31年5月には、本町において2度目となる全国闘牛サミット

が開催されます。徳之島の伝統文化であり、大切な観光資源の闘牛大会を通じて日本一の闘牛の島を発信いたします。また、長年の懸案でありましたドーム闘牛場について、関係機関や団体と連携を図り、建設に向けた基本計画を作成してまいります。

また、トライアスロンIN徳之島大会は今年度で第32回を迎えます。名実ともに「スポーツ愛ランド徳之島」として広く発信し、地域活性化へ繋げてまいります。

さらに、年々拡大するスポーツ合宿誘致は、合宿日本一の島推進事業により新規種目の開拓や年間を通じた合宿で交流人口の拡大を図ってまいります。平成31年度はその第一歩として本町出身の一流アスリートとの連携によるレスリング合宿及びスポーツ教室を開催いたします。

空港利用促進といたしましては、徳之島・鹿児島線の再ジェット化と奄美群島アイランドホッピングルート開設により航空路の利便性が向上しました。これによ

り、交流人口の拡大と観光振興及び経済発展の拡大に繋がるよう取り組んでまいります。

奄美大島・徳之島線の午前中の就航再開につきましては、早期に課題解決できるように取り組んでまいります。大都市圏直行便の実現と関西とのLCC就航につきましては、引き続き国・県・航空会社等への陳情活動を行ってまいります。

国体準備といたしましては、第75回国体体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」まで2年を切り、今年11月にはリハール大会が開催されます。関係機関と連携を密にし大会を成功させて、2020年10月開催の本大会へ繋げたいと考えております。

そのために、大会コースをはじめ景観整備、地元審判員及び交通整理員など受入態勢の強化を図ってまいります。全県下から来島される選手団・関係者や応援者を温かく迎えるために町民運動を推進してまいります。

### 3

#### 子どもから高齢者まで、みんなが健康の町

乳幼児から高齢者まですべての世代の健康づくりを推進するため、引き続き乳幼児健診、特定健診、長寿健診、がん検診などの各種検診の受診率向上に努め、早期の育児支援や保健指導、疾病の早期発見・早期治療につなげ、健康の保持増進と医療費の適正化に取り組んでまいります。

国民健康保険事業においては誰もが安心して医療が受けられる国民健康保険事業の安定的な運営を進めてまいります。

また、年々高騰し続けている医療費の抑制を図るため、きめ細かい保健事業を実施するとともにレセプト点検等の医療費適正化対策を推進してまいります。

児童福祉につきましては、「児童手当・児童扶養手当・ひとり親家庭医療費助成・乳幼児医療費助成制度」等の施策について取り組んでまいります。

少子化対策並びに子育て支援の取り組みといたしましては、

児童養育費助成事業による保育料の実質無料化や出産祝い金支給事業、義務教育修学児医療費助成事業など、子育て世代への経済的支援を継続して取り組んでまいります。

また、平成31年度より「子育て支援拠点事業」を実施し、在宅保育世帯の子育てを支援してまいります。

「天城町子ども・子育て支援事業計画」につきましては、施策の進捗状況と現状の把握の上、次期5年計画を作ってまいります。

保育所につきましては、引き続き設備や、遊具等の整備を進めるとともに、保育士等の研修の実施により質の高い保育環境を実現し、安心してお子さんを預けていただけるよう努めてまいります。

また、消費税・地方消費税引き上げによる、低所得者・子育て世帯への消費に与える影響緩和のため、プレミアム付商品券事業を実

施いたします。

障がい福祉につきましては、地域生活支援事業を活用した日常生活用具の給付、車椅子補聴器など補装具の支給等を行い、障がいを抱えた方やその家族が安心して暮らせるように支援してまいります。

また、介護給付や訓練等給付の利用につきましても引き続き支援してまいります。

高齢者福祉につきましては、敬老祝い金支給事業をはじめ、緊急時の通報装置の貸与・設置、敬老バス無料乗車券交付など、高齢者に寄り添った事業を展開するほか、老人クラブへの助成も引き続き行い支援してまいります。

自殺予防につきましては、地域自殺対策強化事業補助金を活用した「こころの電話相談」や、臨床心理士による個別相談会並びにこころの健康に関する講演会を開催してまいります。

介護保険事業につきましては、

自立支援・介護予防・重度化防止に取り組むとともに、介護給付適正化事業に主体的に取り組み、介護保険制度の安定と持続可能な運営を推進してまいります。

地域支援事業につきましては、高齢者が安心して自分の家で暮らし続けることの出来る社会の構築を目指してまいります。そのために、高齢者の状況を把握し、医療・介護・予防・住まい・地域の見守りや生活支援等の自助・互助・共助・公助を組み合わせた、高齢者一人ひとりの生活を支える仕組みづくり、地域包括ケアシステムの構築と充実を図ってまいります。

教育文化の町づくりの推進につきましては、教育大綱に基づき、天城町教育振興基本計画により、「ユイの心もち、世界雄飛と島担うひとづくり」を基本目標として、将来の天城町を託せる人材の教育を推進してまいります。

#### 4 将来の天城町を託せる人材の教育

学校教育の充実につかましまして

は、特に以下の視点を掲げ推進してまいります。

将来の天城町を託せる人材の教育のひとつとして、小中学校の総合的学習時間で、天城町の人・文化・歴史、そして自然環境等の世界的な「価値」について学び、その学習を「あまぎ学」としてプログラム化し、ユイの館での学習や町内外から講師を招いて、自然、歴史、文化等の郷土学習を行います。また、野外現地学習を平成31年度からはじめることとしております。

学校の新学習指導要領におきましては、情報活用能力が、言語能力、問題発見や解決能力と同様に学習の基盤となる資質及び能力と位置付けられており、小学校においてもプログラミング教育が必修化されますので、積極的にICTを活用した学習活動を行うべく、計画的にタブレットの導入等を進めてまいります。

教職員の働き方改革の推進といましては、校務事務処理のシステム等の導入を図ってまいります。

す。また、学力向上に向けた教員の資質向上や、充実した教育活動の推進といたしましては、土曜授業の実施や授業づくりの指針となる「天城町授業づくりの目」の活用推進を図ってまいります。

英語教育につきましては、ALLを小中学校へ派遣して、児童・生徒の英語力の向上に努めてまいります。

特別支援教育の推進につきましては、平成30年度から引き続き学校間の交流会を実施し、さらに特別な教育的ニーズが必要な児童・生徒が、これまで以上に豊かに成長できるように取り組んでまいります。

また、思春期における悩み等に対応する心の教育相談員及び、スクールソーシャルワーカーを配置して、児童・生徒に寄り添った支援を継続してまいります。

天城町の未来を担う子どもたちの教育振興とその充実を図るため、高等学校、短期大学、専門学校、大学等への入学希望者を対象

に、「天城町育英奨学資金」や、「夢と希望の上原勇一郎奨学資金」を活用して、奨学金を継続して貸与してまいります。

健康で心豊かな教育の充実を図るため、地域おこし協力隊を活用した体験活動や芸術とのふれあい教室を実施いたします。児童・生徒数の減少に伴う対策としては、校区の方々と共に、山海留学制度や特認校制度を活かした地域支援活動を推進してまいります。

学校施設につきましては、児童生徒等の熱中症対策として町内すべての学校の普通教室に冷房を設置いたします。また、平成31年度と32年度の2カ年で、天城町学校施設長寿命化計画を策定し、校舎・体育館・教員住宅の実態を調査し、計画的な補修を実施してまいります。また、建て替えについても協議してまいります。

給食センターにつきましては、児童生徒の心身の健全な発達には欠かせない学校給食を提供する場所ですが、建築から39年経過し、施設及び設備の老朽化が進

んでいるため、建て替えについて計画してまいります。

社会教育につきましては、生涯学習推進室・図書館・ユイの館・B&G海洋センターを活用した「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことが出来る生涯学習環境づくりさらに取り組み、地域コミュニティの維持及び活性化に努めてまいります。

社会教育の主な平成31年度の事業は、鹿児島県立博物館と連携して「学ぼう郷土の自然博物館がやってきた！」と題し、移動博物館事業を行ってまいります。

また、昨年リニューアルしたB&G海洋センター多目的艇庫では、海洋レジャーや子どもたちの海洋教育を充実させるとともに、2階キッズルームを「子宝の島」の「子育て基地」として活用を図ってまいります。

生涯学習事業につきましては、今日のように変化の激しい、かつ複雑化する社会においてあらゆる年齢層の教育に対する強い関心や

多様化する学習意欲に対応するため、かごしま県民大学中央センターと連携し「生涯学習県民大学講座」を開催いたします。

教科セミナーにつきましては、さらに授業内容の充実を図るべく、模擬テストや「自主的学び応援事業」を実施し、生徒個々の様々な能力開発・学力向上を支援してまいります。

図書館事業につきましては、徳之島三町が連携して図書の貸し出しや返却がどこでも行える図書館システムを新たに導入し、利用者の利便性に即した図書の照会や検索をするレファレンスサービスを行ってまいります。

また、図書返却口の増設や、図書館以外でも本に親しむことができるように、移動図書館車のサービス向上はもちろんです。が、公共施設以外の図書設置場所の取得にも取り組んでまいります。そして小さい頃から本に親しみ、読書が習慣化するような活動を読書グループと連携して実施してまいります。

社会体育事業につきましては、全ての町民がスポーツ・健康づくりに取り組める場としての機能を高めるために、引き続き駅伝大会やクロスカントリー大会を開催するほか、総合運動公園グラウンドの芝生を活用したグラウンドゴルフ等の生涯スポーツの推進を図ってまいります。

ユイの館の主な取り組みにつきましては、引き続き文化的資料の収集と整備に努めてまいります。また、広く町民の皆様に活用していただけるよう企画展や講演会などの活動にも取り組んでまいります。

文化財事業につきましては、「国宝重要文化財等保存整備事業」を活用して、下原洞穴遺跡の発掘調査報告書の作成と町内の水中遺跡の分布調査を行ってまいります。

また、「鹿児島県指定文化財保護事業」では、戸森の線刻画の保存整備を行ってまいります。

## 5 世界に誇れる文化・自然の継承

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録については、昨年5月のIUCN（国際自然保護連合）による「延期勧告」を受け、国において推薦内容の修正を行い、本年2月にユネスコ世界遺産センターへ推薦書を再提出いたしました。本年の夏から秋頃にかけて、IUCNによる現地視察が実施される見込みとなっております。

2020年の世界自然遺産登録を確実なものとするため、徳之島地区自然保護協議会と連携し、普及啓発イベントの開催やネコ対策をはじめとする外来種対策、希少野生動植物の保護対策などを推進するとともに、住民意識の向上および遺産価値の保護を図ってまいります。

受け入れ対策としましては、平成31年度開通予定の「世界自然遺産奄美トレイル天城町コース」の活用やエコツーリズムを推進し、徳之島の自然の魅力発信に努めて

いくとともに、登録後を見据えた  
ビクターセンターの建設誘致活動  
も積極的に行ってまいります。

また、先ほど「あまぎ学」の所  
でも申し上げました、鹿児島県・  
沖縄県等と連携した世界自然遺産  
次世代継承交流体制構築事業を推  
進し、世界自然遺産の島としての  
次世代を担う人材の育成に取り組  
むとともに、遺産候補地4地域間  
の交流を促進してまいります。

## 6 地方創生の推進と均衡のとれた町土形成

地方創生の推進につきましては、  
平成27年度に策定した第1期  
目の「天城町まち・ひと・しごと  
創生総合戦略」が終期を迎えるに  
あたり、これまでの地方創生の  
取組の成果や課題を検証した上  
で、将来の社会的変化を見据えた  
2020年度からの次期総合戦略  
策定を進めてまいります。

企業誘致につきましては、地方  
創生の観点から産業の活性化と雇  
用創出を目指し、県外企業の情報  
収集を進めるとともに、現行の  
「天城町工場等立地条例」を見直

し、企業に対する支援制度の拡充  
を図り、積極的な誘致活動を進め  
てまいります。

生活環境の整備につきましては、  
は、振興計画に基づき前野岡前横  
断線及び平和東線について実施設  
計業務委託を実施し事業を進めて  
まいります。

橋梁補修事業につきましては、  
橋梁長寿命化計画に沿って実施  
し、舗装修繕事業においては天城  
中央線歩道を中心に実施いたしま  
す。町単独事業といたしまして  
は、喜治原2号線の舗装補修工事  
を行ってまいります。並びに、県  
管理道路における維持補修事業、  
路傍樹育成保全事業も継続して実  
施いたします。

公営住宅建設事業につきましては  
は、平土野原地区に1棟8戸を新  
築いたします。さらに、住宅不足  
解消に向けて、木造住宅1棟2戸  
を町単独事業として建築いたしま  
す。また、南部地区住宅用土地購  
入についても進めてまいります。

公園整備事業につきましては、

総合運動公園の老朽化した遊具施  
設を中心に改修を行ってまいりま  
す。

簡易水道事業につきましては、  
安心・安全な水の安定供給を図る  
ため、引き続き水質改善対策や施  
設の補修点検・改修対策などを進  
めてまいります。

平成31年度の主な事業として、西  
阿木名地区簡易水道事業の単年度  
計画で前処理ろ過機・急速ろ過  
機・電気計装設備等の整備を行っ  
てまいります。

中部簡易水道事業につきましては  
は、兼久・瀬滝集落において水圧  
の弱いところの配水管の布設替え  
を実施してまいります。

また、平成32年度からの上水道  
事業移行に伴い、上水道事業創設  
認可申請書の作成や条例・規則等  
の制定等、公営企業会計における  
財務会計の職員研修を行い、上水  
道会計へスムーズに移行できるよ  
うに取り組んでまいります。

生活環境・公衆衛生につきまし  
ては、河川及び海域への生活汚濁

水の流入により水質汚濁が懸念さ  
れております。そのため、家庭か  
らの生活排水を処理する施設とし  
て合併処理浄化槽設置整備事業を  
実施し、町単独補助として新築以  
外の合併処理浄化槽設置に対して  
1基当たり10万円の上乗せ補助を  
引き続き行い、設置推進・普及に  
努めてまいります。

また、相変わらず町内海岸全域  
で大陸等からの多種多様な漂流・  
漂着ゴミが確認されています。国  
の海岸漂着物地域対策推進事業を  
活用し、海岸の漂着物の除去作業  
を行い、景観及び環境保全に努め  
てまいります。

また、不法投棄防止対策とし  
て、定期的なパトロールの実施や  
警告看板等の設置を行い、町民の  
生活環境意識の向上に取り組んで  
まいります。

地域防災につきましては、若手  
及び女性消防団員の活動支援や教  
育訓練等を実施し、さらなる組織  
力の強化に努めてまいります。

また、防災力の向上につきまし

ては、自主防災組織や町民を対象にした防災講話や、研修等を実施し、防災組織の強化及び防災・減災に向けた意識向上に努めてまいります。

さらに、防災関連施設整備事業として、災害時の避難所における安定した水の供給を図るため、防災センターに飲料水兼用耐震性貯水槽を整備いたします。

また、集落公民館及び公共施設等の避難場所、避難所34箇所無線アクセスポイントを設置しました。インターネット環境を整備することで平時・災害発生時にも来島者・住民等が広く情報収集できる状態を確保してまいります。

デマンドバスの運行につきましては、南部路線を新たに設置するため、徳之島地域公共交通活性化再生協議会に図り、新規路線開設を目指してまいります。

町内への移住・定住の促進につきましては、「天城町空き家バンク制度設置要綱」により、町のホームページなどで広く空き家情

報を提供し、受け入れ環境の整備に努めてまいります。また、空き家の改修及び修繕に対しても引き続き支援を行ってまいります。

天城町には現在、6名の地域おこし協力隊が活動しています。3年の任期を終えた後も本町に定住して活動を継続していただけるよう支援していくとともに、新たな協力隊の募集を行い、地域おこし協力隊の活動を通じて、地域力の強化を図ってまいります。

少子高齢化、情報化社会などの社会情勢の変化や地方分権の進行等に的確に対応し、新たな行政課題と住民の多様なニーズに即応できる行政サービスを展開するため組織・機構の再編を行ってまいります。

## 7 行政改革の推進

本町の財政事情につきましては、自主財源が乏しく、町の財源は、地方交付税に大きく依存している状況にあります。そのため、町税をはじめ使用料・手数料等の自主財源の確保に向けては、一層

の強化を図ってまいります。

納税者の利便性確保の方策といたしましては、口座振替の推進とともに、毎月1回休日納付窓口の継続開設のほか、本年度より24時間対応のコンビニ収納やスマホ決済システムPayB（ペイビー）等を実施してまいります。

一方、納税に対する理解が得られない一部の滞納者に対し、法に基づき預貯金や生命保険・給与等の財産調査やタイヤロック・財産差押えなどの滞納処分を行い、差押物品の公売会を実施してまいります。

ふるさと納税につきましては、ゆたかなふるさと基金条例に基づき、寄附者からいただいた寄附金を各事業に充当し、有効に活用してまいります。また、ゆたかなふるさと基金条例に世界自然遺産登録に関係する項目を増やし、より寄附者目線で寄附増額を目指す仕組みを構築してまいります。



度も各課・局で様々な事業・取り組みを展開して参ります。そのなかでも特色ある施策の  
介します。詳細については各課にお問い合わせください。

2. 子育て支援に関する情報提供
  3. 乳児及びその保護者の心身の様子及び養育環境の把握
  4. 支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整
- 当初予算 110千円

#### <病児保育事業負担金>

保護者が就労している場合等において、子供が病気の際に自宅での保育が困難な場合に一時的な保育を実施。

○当初予算 500千円

#### <巡回支援専門員訪問指導>

発達支援センターの保育士と町保健師が町内保育所及び幼稚園を訪問し、対象児に応じた支援を検討、助言する。

○当初予算 45千円

#### <子育て支援拠点事業>

乳児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行います。

(当初予算3,785千円)

#### <配食サービス事業>

65歳以上の高齢者及び介護認定を受けている方を対象に栄養改善と健康の保持を図り、在宅での生活が出来るように支援すること及び見守り支援を目的に自宅へお弁当を届けるサービスを行っています。

○委託先：天城町食生活改善推進員連絡協議会

○当初予算 4,682千円

#### <出産祝金>

少子化対策の一環として、出生児を祝福し子供の健やかな成長を願うために、第2子以降の祝金を引き上げ(助成金の増額)、もって本町の児童福祉の向上に資する目的とし実施します。(当初予算 7,300千円)

第1子	50,000円
第2子	100,000円
第3子	200,000円
第4子	300,000円
第5子	400,000円
第6子以降	500,000円

## 農政課 (85-5249)

○農地や家庭菜園を持たないご家庭を対象に、1区画21㎡(3m×7m)で全10区画の市民農園を農業センターに開設いたします。利用料は年間3,000円(1区画)となっており簡易な農具は貸し出ししますので、ぜひご家族で農業体験の場としてご利用ください。

(申込期限4月中旬、4月末から貸し出し予定)

○スマート農業導入実証事業：園芸品目の生産振興のため、ドローンによる農薬散布や直進アシストを装備したトラクターの実演会を開催し、労働時間の短縮や作業軽減、適期防除を行うことで生産性の向上と単収向上を図り、今後の機械導入に繋げていく。

(当初予算額3,518千円)

継続事業(抜粋)

○土づくり：堆肥助成、改良資材助成、深耕、緑肥、農地再活性化事業など

○さとうきび：メリクロン苗助成、機械導入助成、早期植付助成、薬剤助成など

○肉用牛：分娩事故軽減カメラ導入助成、自家保留導入助成、粗飼料生産、敷料など

○園芸：簡易ハウス導入、管理機械導入助成、輸送コスト支援事業など

○農地中間管理事業、経営ソフト助成、農業センター(研修制度、農業塾)など

## 建設課 (85-5242)

#### <公園施設長寿命化対策支援事業>

総合運動公園わんぱく広場の遊具改築を継続します。

○事業費 52,000千円

#### <町営住宅>

平土野原団地	3LDK	RC2階	1棟8戸
木造住宅	2DK		1棟2戸
空き家再生等推進事業			1戸

○事業費 229,000千円

#### <道路事業>

舗装修繕事業で天城中央線歩道、橋梁補修事業で町内橋梁を、また継続事業で、喜治原2号線、喜治原線の完了を致します。

○事業費 239,000千円

## 教育委員会総務課 (85-5226)

#### <クイの心を持ち、世界雄飛と島担うひとづくり>

(当初予算額440千円)

郷土に対する誇りを育み次世代を担う人材育成のひとつとして、小中学校の総合的学習時間で、天城町の人・文化・歴史、そして自然環境等の世界的な“価値”について学び、その学習をまぎ学として、郷土学習に取り組みます。また、役場企画課と連携し、奄美と琉球の世界自然遺産次世代継承交流体制構築事業を活用して、世界自然遺産推薦地(前12市町村)の子供たちが、世界自然遺産に関する自然及び文化の価値とその保全に対する認識を深め、交流の活性化を図り、さらに世界自然遺産の価値を次世代に継承していくことを目的とします。

#### <学力向上>(当初予算額3,446千円)

新学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力、問題発見や解決能力と同様に学習の基盤となる資質及び能力と位置付けられており、小学校においてもプログラミング教育が必修化されるので、タブレットを導入します。

教職員の働き方改革の推進として、校務事務処理のシステム等の導入を図り、学力向上に向けた教員の資質向上や、充実した教育活動の推進を図ります。

#### <熱中症対策>(当初予算額75,600千円)

児童生徒等の熱中症対策として、町内すべての小中学校の普通教室及び幼稚園に冷房を設置します

## 社会教育課 (85-5237)

#### <結シアター手舞青少年育成文化芸術振興補助金>

(当初予算額1,500千円)

- ・次世代をを担う「若者」が島に留まり活気と向上心を育み、島を愛し思う気持ちを堅持することにつなげる。
- ・島の魅力を発信・PRし交流人口につなげる。
- ・地域イベントに積極的に参加し、地域を盛り上げ活性化を図る。
- ・家庭・地域・学校と連携・協働した取組を図り持続可能な活動、町づくりに努める。

#### <自主的学び応援事業助成金>

(当初予算額 590千円)

「世界雄飛と島担う人づくり」を具現化するため、教科セミナーの強化・充実・発展により、個々の様々な能力開発・学力向上を支援し、次代を担う青少年リーダーの健全育成を図る。

#### <「学ぼう郷土の自然博物館がやってきた!」移動博物館事業>

(当初予算額387千円)

世界自然遺産を目指し、地域の自然の豊かさ、興味深さに触れる機会を広く提供するとともに郷土の自然を見つめ、科学する心を育み、自然と共生する心を培うため、展示活動や工作実験、星空観察などを通じた体験活動を実施。\*鹿児島県立博物館との協働事業

#### <生涯学習県民大学講座>(当初予算額0円)

変化の激しい、かつ複雑化する社会においてあらゆる年齢層の教育に対する強い関心や多様化する学習意欲に対応するため、かごしま県民大学中央センターと連携し「生涯学習県民大学講座」を開催。\*鹿児島県民大学中央センターと連携

## 総務課 (85-5144)

災害時の避難所における安定した水の供給を図るため、防災センターに飲料水兼用耐震性貯水槽を整備いたします。

## 企画課 (85-5171)

## &lt;空き家対策事業&gt;

町内における空き家の利活用を促進し、地域の活性化と良好な住環境を確保するため、改修や修繕等に対し補助を行います。

○補助要件 100万円以上の工事とし、補助対象工事費の1/2とする。(上限100万円×5件)

## &lt;町内起業支援対策事業&gt;

本町の定住人口の増加を促進するため、UIターン者で新たに創業する起業家を支援し、町内定住による地域経済の活性化に寄与することを目的とします。

○補助金額 対象経費の2分の1以内とし、50万円を限度(上限50万円×2件)

## &lt;平土野地域活性化基金活用事業&gt;

事業者のやる気を育てること、様々な人・団体などがつながりをもつこと、地域資源の活用・発掘・創造を図ることを目的として平土野中心商店街飲食店限定の店舗開店準備資金に対して補助を行います。

○対象経費の2分の1以内とし、50万円を限度(上限50万円×2件)

## &lt;世界自然遺産登録に向けた取組&gt;

希少野生動植物の保護や普及啓発、エコツアーガイドや通訳ガイドの育成に取り組んでまいります。また、遺産候補地間の交流の促進と次世代を担う人材の育成として、小中学校の総合学習時間で「あまぎ学」を実施いたします。

## &lt;平土野港多機能港湾新設に向けた取組&gt;

平土野港を物流拠点や大型クルーズ船寄港地としての機能を備えた多機能港湾として整備するために、平土野港多機能港湾新設期成同盟会(仮称)を設置し、国・県への要請活動を実施致します。

## &lt;地方創生に関する取組&gt;

第1期の天城町まち・ひと・しごと創生総合戦略が終期を迎えるにあたり、これまでの取組の成果や課題を検証し、次期総合戦略を策定致します。

## 商工水産観光課 (85-5149)

## &lt;天城町先端水産業実証事業&gt;

旧農政局施設を利活用した陸上養殖及び屋内の水槽で一時的に養う(畜養)や水産研究を実施し、本町の水産振興の活性化を図る。予算額8,400千円

## &lt;天城町水産業活性化推進事業&gt;

漁業生産の向上を推進するために漁業従事者が漁具及び漁業資材の導入や水産加工設備等の設置、又は、出漁時の燃料費等の経費負担を軽減するため、予算の範囲内で補助を行い、水産業の活性化を図る。予算額2,000千円

## &lt;水産物供給基盤機能保全事業(保全工事)&gt;

松原漁港の内防波堤及び導流堤の保全工事により、漁業拠点施設の環境整備を行う。

予算額16,000千円

第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」トライアスロン競技リハーサル大会

予算額31,994千円

2020年「燃ゆる感動かごしま国体」開催に向けて、本町と競技団体並びに関係機関が連携し、大会、運営上の業務を習熟するとともに問題点を明らかにし、国体の開催に万全を期すことを目的とし、大会を成功させ本大会へ繋げる。

## 農地整備課 (85-5339)

## &lt;基幹水利施設管理事業&gt;

徳之島ダムの継続的な維持管理の為には、小水力発電収入だけでは難しい。それを補う為に国・県・3町の補助による当時業を活用し、安定した運営を行っています。

予算額25,000千円

## 税務課 (85-2250)

納税者の皆様の利便性確保の方策として、口座振替の推進とともに毎月1回休日納付窓口の継続開設のほか、本年度より24時間対応のコンビニ収納やスマホ決済システムPay B(ペイビー)等実施してまいります。

多くの町民の皆様に、納税へのご理解・ご協力を頂いているところですが、納税に対する理解が得られない一部の滞納者に対しましては、法律に基づき預貯金や生命保険・給与等の財産調査を行いタイヤロックや財産差押え等の滞納処分を実施してまいります。ご協力よろしく願います。



## 町民生活課 (85-5331)

## &lt;浄化槽設置事業&gt;

浄化槽設置事業における国・県の補助に併せ、更なる汚水処理普及率の向上を図るため、町単独補助として1基当たり10万円を上乗せして助成します。

(当初予算額 5,000千円)

## &lt;高齢者のゴミ出し負担軽減&gt;

高齢者のゴミ出しの負担軽減を図るため、ゴミ出し用手押し車購入費の一部助成

(当初予算額 196千円)

生ゴミの減量化・資源化を推進するため、家庭用生ゴミ処理機購入費の一部助成

(当初予算額 100千円)

## 保健福祉課 (85-5333)

## &lt;児童養育助成事業&gt;

町単独の施策として実施している、保育所・幼稚園の実質無料化に付きましては、子育て世帯の経済的負担軽減並びに人口減少に歯止めをかけるためにも、継続して取り組んでまいります。

○当初予算 35,319千円(保育所)

4,240千円(幼稚園)

## &lt;義務教育就学児医療費助成事業&gt;

少子化対策の新たな取り組みとして、従来実施してきた乳幼児医療費助成制度と同様に、義務教育就学児(小学校就学児から中学校終了前の子供)の世帯に対し、医療費を助成し子どもの健康の保持増進並びに子育て世帯への支援に資することを目的とします。

○当初予算 3,500千円

## &lt;乳幼児健診、特定健診、長寿検診、がん検診事業&gt;

生活習慣病の重症化による早世が問題となっております。各種検診の受診率向上に努め、早期の育児支援や保健指導、疾病の早期発見・早期治療につなげ、健康の保持増進と医療費の適正化を図る。

○当初予算額 25,433千円

## &lt;乳幼児全戸訪問事業&gt;

生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、以下の支援を行う。

1. 育児に関する不安や悩みの傾聴、相談

## 天城町B&G海洋センター災害復旧修繕助成 定書授与式及び艇庫モデル事業報告会

2月26日(火)、町長室において、天城町B&G海洋センター災害復旧修繕助成決定書授与式があり、B&G財団理事長から森田町長へ決定書の授与がありました。理事長から、日頃の活動内容を評価し、決定に至りましたとの挨拶がありました。

その後ソテツ会議室において、平成30年度天城町B&G海洋センター艇庫モデル事業報告会がありました。この事業は天城町とB&G財団が協定を結び、多目的な活用を図る艇庫として全国海洋センターのモデルとする事業で、成果として艇庫の利用者や島内小中学校の体験学習の利用などの増加があげられたほか、【海塾】や【ちびっこBGフェスタ】、【ヨナマルシェ】など艇庫を利用した様々な取組について報告がありました。

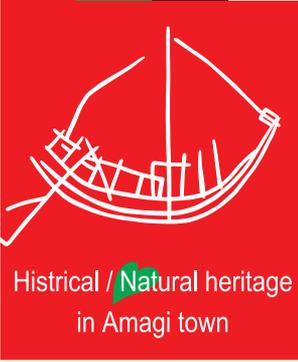
今後の課題としては、安全性の確保の観点から、人員やライフセーバーの充足があげられました。



## 天城町区長連絡会世界自然遺産勉強会



2月5日(火)、集落区長を対象とした世界自然遺産勉強会が開催されました。勉強会は、区長連絡会の要望で開催。NPO法人徳之島虹の会美延事務局長を講師に招き「世界自然遺産と地域の取り組み」と題し、虹の会の活動紹介や徳之島の希少野生動植物、外来種問題などについてお話しをいただきました。美延事務局長は「世界に誇れる島の自然を守り後世に伝えていくことは、島に住んでいるわたしたちの務めである」と、世界自然遺産登録に向けた地域の理解と協力を呼び掛けていました。



Historical / Natural heritage  
in Amagi town



## 意外？ クツカルは渡り鳥 島の鳥 今昔

島でも馴染みの、キョロキョロ〜と鳴く**アカショウビン**は夏鳥ですが…案外、いつでも島にいる鳥と思いませんか？。4月下旬に来て、夏に子育てし、9月中旬には東南アジアへ帰ります。奄美や沖縄に渡ってくるのは、亜種リュウキュウアカショウビンです。幕末に書かれた「南島雑話」(名越左源太 著)には「ミヤマヒスイ、四月中多来、鳴声ハ鶯如、好テ蝸牛食」とあります。独特の声を、とんびのぴ〜ヒョロロロに例え、よくカタツムリを食べるのを見かけていたようです。今回は、江戸時代〜明治時代の記録から、鳥の分布や方言名などについて探ってみましょう。



カタツムリなど  
獲物を枝に叩きつけ  
弱らせてから丸呑みする

### 意外に多い？ アカショウビンの方言名

火の鳥の異名をもち、姿も声も印象的なので、各地に名が残っています。

亜種リュウキュウアカショウビンでは…徳之島、クツカル/コツカル/ココカル。奄美大島、クツカル/クツカルー/クツクルー/ココロ。沖縄本島、クカル。渡嘉敷・名護、コツカラー/コツコレー。宮古島、クカイ。八重山、コツカルー/コツカラー/コツカリーウ/コツカリーイ/ゴツカル/ホツカルなど。

亜種アカショウビンでは…アイヌ語、ウケイケチリ/ウウイケチリ(語尾の「リ」は独特の小さな発音)。秋田県、あまふねどり。中越地方、ケロロ/キョロロ/テロロ/テル/さずいどり/あまこいどり/なんばんどり/みずあげどり。茨城県、あまこいどり/じごくのかねつき/しょーびんどり/ひごま/まめころばし/みずこいどり。埼玉県、みづほしどり/あめふらし/フレフレ。山梨県、みずこひどり。静岡県、みづこい。岐阜県、あまこひどり。和歌山県、みづこい/ミスヒョウロ(昔話)。高知県、みづこい、などなど。おおむね、南国では声の聞きなし、アイヌでは神の鳥、米作の盛んな地域では梅雨や雨乞いに関わる名で呼ばれていました。また、江戸時代の図には、みやましようびん/みやまそび/やまそな/みやまひすい/あかひすい、などと書かれています。

### なぜ体が赤いのにアカヒゲ？

幕末に奄美大島の事柄を書いた「南島雑話」に「野駒、昔この無名の鳥に、**のどが赤い**ので、アカヒゲと名付けた」(現代訳)とあり、ノゴマをアカヒゲと名づけた事を知られていたようです。また、江戸の昔から鳥愛好者にとって、アカヒゲの名が不自然だと思われていました。当時の著名な鳥の飼育解説書「飼籠鳥(かいこどり)」には「薩州の官吏が、あかひげ(赤い毛)の鳥と書いて琉球へ問い合わせたところ、琉球はひげの字をひげと読み違い、赤鬚鳥としたため返した。以来、薩州は琉球の赤鬚鳥として、誤って世に伝えた」(現代訳)とあります。かなを漢字にした顛末は不自然ですが、いずれにしてもアカヒゲの由来は、当時から怪しまれていたのです。事情はどうであれ、赤い小鳥は琉球産の愛玩鳥**アカヒゲ**として、時とともにその名が広まっていきました。

現在の奄美ではハーヒギやアカヒギヤ、沖縄ではアコウなどと呼ばれており、薩州の官吏は外国の琉球でなく、藩内の奄美大島に問い合わせた可能性があります。

これらを総合すると…サトウキビ畑で少なからず越冬している**ノゴマ**は、当初喉が赤いので**アカヒゲ**と呼ばれており、薩州の官吏からの質問に奄美大島からは、とりあえず喉に赤い毛を持った**ノゴマの島口名=アカヒゲ/赤鬚鳥**と回答。当時は、砂糖地獄と呼ばれる厳しい生活だったので、シマンチュには森の小鳥に興味を持つ余裕がなく、無名だったのでしょう。その後、奄美へ鳥を捕獲しにきた本土の人たちが「アカヒゲという小鳥を知らないか？」とたずねたりしたために、逆輸入的に広まったのでは???

## あくまでも仮説ですが！



今の和名  
アカヒゲ

### 本当のアカヒゲは誰？

江戸時代後期、医師/博物学者シーボルトがオランダのテミングに送った標本の名が、コマドリと入違う手違いが発生！学名がアカヒゲ=Erithacus komadori、コマドリ=Erithacus akahigeとなってしまったのです。(現在、属名はErithacusからLarvivaloraに変更)

ちなみに、沖縄本島北部に生息しているのは亜種**ホントウアカヒゲ**です。

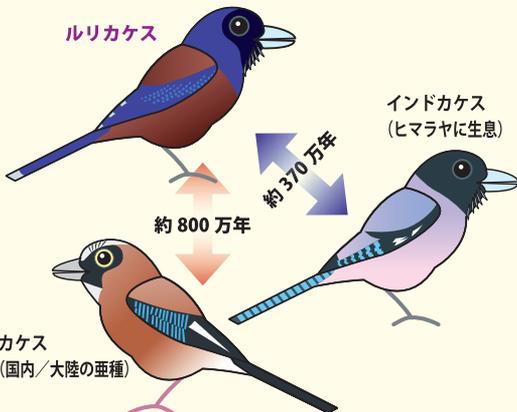


今の和名  
ノゴマ



新たに  
青ひげ登場

鳥のサトウキビ畑で相当数が越冬していますが、とても臆病です



### ルリカケスは徳之島にはいないの？

現在はいません。鳥類学者の間では、生息していた可能性は高いとされていますし、なんと1920年(大正9年)に島内で発見例があるそうです。住木野(三京)の獺師さんが、戦前まで見ていたとの証言もあります。明治時代の「徳之島事情」(徳之島町出身、吉満義志信 著)には、「飛禽トハ、鷹、鴨、鳩、鳥、千鳥、花吸、鶯、鶯、**山鳥**、赤髭、鶯…」とあり、**山鳥**に注目。幕末の「南島雑話」には「**紺瑤禽ヤマガラス、一名ヒヨシヤ**」とあり、ルリカケスは奄美大島の島口でヒョウシヤなどと呼ぶことから、**山鳥はルリカケスの可能性**があります。江戸時代中期には、ルリカケスは「紺瑤禽(こんようきん)」「豹射(ひょうしゃ)」「やまがらす」「りうきうかけす」などと呼ばれ、舶来の鳥として珍重されていたようです。時代は遷り、明治時代に鮮やかな羽を目当てに乱獲され、激減しました。明治末期に捕獲禁止になったものの、戦時中も減り続け、ついに絶滅してしまったのかもしれない。骨が見つければ、生存が証明されるのですが…

ちなみに、近縁種は九州以北や東アジアに分布するカケスではなく、遠く離れたヒマラヤのインドカケス。カケスとは約800万年前に、インドカケスとは370万年くらい前に種が分かれました。

もっと情報が見られる  
電子版はこちら



## — 感謝状贈呈式 —

人命救助をした環境省徳之島自然保護官事務所職員2名に天城町から感謝状が贈呈されました。天城町からは感謝状とともに山猪工房あまぎのイノシシ肉と農業センターで栽培された野菜が贈られました。沢登自然保護官からは、「このようなことは2度とあってほしくないが、もしこのようなことがあったら救助するのは当たり前のことだと思う」との話がありました。麓自然保護官補佐からは、「いただいたイノシシ肉と野菜はおいしくいただきます」との話がありました。

### 救助内容

2月2日(土)に希少種の確認のため西阿木名の山地に入っていたところ、崖下から助けを呼ぶ男性を発見し救助。男性は「足が折れて動けない。昨日からここにいる」と話していた。男性の命に別状はなかった。



## — 世界自然遺産セミナーin徳之島 —

2月10日(日)、天城町防災センターにて鹿児島県主催による『世界自然遺産セミナーin徳之島』が開催されました。セミナーでは、北海道大学大学院高木教授および屋久島野外活動総合センター松本代表の専門家2名による講演のほか、面縄中学校生徒による自由研究発表、樟南第二高校吹奏楽部や結シアター手舞によるアトラクションなどが行われました。高木教授は「奄美群島の野鳥を科学的に楽しもう」と題し、奄美群島に生息する鳥類の進化の歴史などを通じ、徳之島の世界自然遺産たる価値などについてお話をされました。松本代表は世界自然遺産登録から25年を迎えた屋久島の事例をもとに、観光と保全のバランスを保つエコツーリズムの推進の重要性を説いていただきました。セミナーには町内外から約180名が参加し、熱心に耳を傾けていました。



## — 総合運動公園グラウンド天然芝生化完成しました！ —

### 第3回B&G会長杯 総合運動公園グラウンド天然芝生化完成記念集落対抗グラウンド・ゴルフ大会

3月9日(土)、天城町総合グラウンドにて、第3回B&G会長杯総合運動公園グラウンド天然芝生化完成記念集落対抗グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。天然芝生化は、総事業費5568万4千円、独立行政法人日本スポーツ振興センターの2018年度スポーツ振興くじ助成金を活用して整備され、今大会が利用開始の記念大会となりました。

森田町長から「この天然芝生化の完成を契機に、より一層生涯学習スポーツが盛んになることを期待します」と挨拶があったあと、集落対抗のチーム戦と個人戦が繰り広げられました。強風の中でしたが、ホールインワンなどの好プレーの際には、敵味方関係なく大きな歓声があがったり、参加者同士でアドバイスし合ったりと終始楽しい雰囲気でした。

終了後には、豚汁がふるまわれ、選手参加者の親睦を深めました。

成績表(全23チーム、144人が参加)

集落団体の部	優勝	天城チーム
	第2位	平土野Aチーム
	第3位	平土野Bチーム
個人男性の部	優勝	新納 啓務 (天城)
	第2位	春田 龍幸 (松原西区)
	第3位	盛岡 平一 (兼久)
個人女性の部	優勝	春田 須磨子 (松原西区)
	第2位	久保 晴美 (天城)
	第3位	新納 洋子 (天城)



## — 天城町自衛官募集相談員委嘱状交付式 —



2月25日(月)、町長室において、天城町自衛官募集相談員委嘱状交付式が開催されました。自衛官募集相談員は、自衛官志願者に関する情報の提供、自衛隊地方協力本部の行う募集のための広報活動に関する援助や協力をします。

今回委嘱を受けられたのは、福田利光さんと平田栄助さんの2名です。

## — 平成30年度天城町出産祝金贈呈式 —

3月18日(月)、天城町保健センターにおいて、平成30年度天城町出産祝金贈呈式が開催されました。今回の支給対象者は平成30年10月1日から平成31年2月末までに出生した新生児の保護者で、対象となる16人のうち10人の新生児の保護者が出席されました。森田町長より一組ずつ祝金の贈呈があったあと、お祝いの言葉で「健康で明るい子どもに成長してもらうよう町として一生懸命支えていきたい、住んでよかった。暮らし満足度No1のまちをみんなで作りたい」との言葉がありました。本町の出産祝金は第1子10万円、第2子10万円、第3子20万円、第4子30万円、第5子40万円、第6子以降50万円となっており、平成31年度も実施されます。



### 林道山クビリ線(徳之島町山～花徳)の通行規制について

**林道山クビリ線で  
通行規制を行います**

2019年7月から



自然環境保全のため、2019年7月からゲートを施錠し一般の通行を規制します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※なお、現在、林道山クビリ線は大雨による崩落のため通行止めとなっています。

徳之島利用適正化連絡協議事務局  
環境省徳之島自然保護官事務所、林野庁徳之島森林管理署、鹿児島県自然保護課、徳之島町

世界自然遺産登録を目指す徳之島では、遺産登録をきっかけとして観光客の増加が予想されています。その中でも、希少な動植物が数多く観察できる林道山クビリ線山～花徳間(以下、同区間)においては、利用客の増加により車両同士の事故やハブや蜂などによる人への被害が発生する恐れがあります。また、希少野生動物の殺傷や振動・光等による動植物の生息環境悪化等が懸念されています。

このため、国・県・徳之島3町・土地所有者・関係団体等で構成する徳之島利用適正化連絡協議では、同区間での通行規制等の利用ルールを定め、自然環境保全を図ることとしました。

2019年7月以降、同区間を通行する場合は、奄美群島認定エコツアーガイドの同行が原則必要となります。規制の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【問い合わせ】徳之島町企画課 TEL82-1111



天城町 絆 コミュニティサイト  
<http://www.yui-amagi.com/>



スマホでいつでもどこでも

広報あまぎ



## 児童扶養手当制度のお知らせ

### ■ 児童扶養手当を受けることができる方

次のいずれかに該当する児童を監護している母または父、及び母又は父にかわってその児童を養育している方が手当を受けられます。

なお「児童」とは18歳に達する日以後、最初の3月31日(18歳の年度末)までをいいます。また、心身おおむね中度以上の障害(特別児童扶養手当2級と同じ程度以上の障害)がある場合は、20歳未満まで手当が受けられます。いずれの場合でも国籍は問いません。



- ① 父母が離婚した児童
- ② 父母どちらか死亡した児童
- ③ 父母どちらか重度の障害の状態にある児童など

### ■ 平成30年度 児童扶養手当の額 ※所得状況により異なります。

全部支給：42,910円      一部支給：42,900円～10,120円

\*児童が2人以上の場合、上記金額に下記が加算されます。

2人目：全部支給：10,140円      一部支給：10,130円～5,070円  
 3人以降：全部支給：6,080円      一部支給：6,070円～3,040円

### ■ 手当が支給されない場合

- ① 申請者、児童が日本国内に住んでいないとき
- ② 児童が里親に委託されたり、児童福祉施設等に入所しているとき
- ③ 婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるときなど

手続・お問い合わせ：天城町役場 保健福祉課 社会福祉係 (電話：85-4114)

## 特別児童扶養手当制度のお知らせ

20歳未満で、身体または精神に重度または中度以上の障害のあるお子さんを監護している父もしくは母、または父母にかわってその児童を養育している方が手当を受けられます。



### ■ 平成31年度 特別児童扶養手当の額

○ 1級(重度障害児)：月額 52,200円      ○ 2級(中度障害児)：月額 34,770円

### ■ 手当が支給されない場合

- ① 児童や、父もしくは母、または養育者が日本国内に住んでいないとき
- ② 児童が、障害を支給事由とする公的年金を受けられるとき  
(児童扶養手当、児童手当、障害児福祉手当は年金ではありませんので併給できます)
- ③ 児童が、児童福祉施設等(保育所、通所施設、障害児入所施設への親子入所を除く)に入所しているとき

手続・お問い合わせ：天城町役場 保健福祉課 社会福祉係 (電話：85-4114)





## 10月1日から消費税の軽減税率制度が実施されます

本年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられ、同時に消費税の軽減税率制度が実施されます。

軽減税率の対象品目は、大きく分けて①**飲食料品**（酒類・外食等を除いたもの）、②**週2回以上発行される新聞**（定期購読契約に基づくもの）の2つです。

軽減税率制度の実施に伴い、事業者の方は、帳簿や請求書等を税率ごとに区分して作成する必要があるほか、レジやシステムの導入・改修・入替えが必要になる場合もありますので、早めのご準備をお願いします。

軽減税率制度に関する詳しい情報は、国税庁ホームページ（[www.nta.go.jp](http://www.nta.go.jp)）内の特設サイト「消費税の軽減税率制度」をご覧ください。

また、ご不明な点は、軽減コールセンター（電話 0570-030-456）、もしくは最寄りの税務署にお尋ねください。

税務署（電話 0997-52-4321）※自動音声案内に従い「2」を選択



## ■消費税軽減税率制度説明会のご案内

大島税務署では、事業者の方を対象として、消費税の軽減税率制度に関する説明会を開催します。多くの事業者の方に関係する制度ですので、是非、お越しください。

### 【説明会日程】

対象者	開催日時	会場
徳之島町 伊仙町 天城町 の方	4月16日（火） 14時00分から 15時30分まで	徳之島町商工会（2F会議室） 住所 徳之島町亀津986-4 ※ 駐車場には限りがございます。
	4月17日（水） 14時00分から 15時30分まで	天城町商工会（会議室） 住所 天城町平土野35-4

※ご都合の良い開催会場で受講が可能です。

### 《お問い合わせ》

大島税務署 法人課税部門（TEL 0997-52-4321（代表））

※ お電話の際は、音声ガイダンスに沿って、「2」を選択してください

## ● 臨床心理士による個別相談会を開催いたします。

人間関係、仕事、子育て、ひきこもり、登校拒否、将来への不安など、ささいなことでも、相談することで何か糸口が見つかるかもしれません。

一歩ふみ出して、相談してみませんか？（^^）

希望される方は、下記にお申し込み下さい。お待ちしております。



日時：平成31年5月20日（月）・21日（火）

対象年齢：天城町にお住まいの方

相談時間：1人30分～45分程度

相談料：無料（全額、町が負担します）

申し込み期限：平成31年5月17日（金）締切（予約必須）

申込先：<こころの相談窓口> 85-5665

※平日午前9時～12時 午後1時～5時





## 天城町高齢者福祉計画及び 第7期介護保険事業計画事業実施進捗状況報告

平成31年2月26日 天城町役場において、天城町高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画事業実施進捗状況報告会（介護保険運営推進会議）を全委員出席の元、開催致しました。



### <委員からの質問>

1. 若年性認知症への対応として、特定検診時に行ったアンケートより抽出された若年性認知症疑いの方への今後の対応について
2. 新たに創設された通いの場や介護予防サロンの活動状況について
3. ケアプラン点検について、施設入所者についてはどのようになっているのか
4. 介護保険料の収納状況と未納者への対応について
5. 介護保険料は今後もあがっていくのか



### <委員からの意見>

1. 介護予防サロン等へ男性が参加するための取り組み（男性が主催者側になるとよい）
2. 地域でのサロン等の活動に要する自主財源確保のための取り組み紹介
3. 健康増進のための高齢者ウォーキング大会の開催要望や老人会との連携について
4. 保険者機能強化推進事業交付金の活用について、ボランティア活動等への利用促進

保険者からの事業進捗状況報告の後、参加された委員の皆様より様々な意見を頂きました。ありがとうございます。

今後は、第7期介護保険事業計画が適切に運営・実施できるよう、PDCAのサイクルを繰り返し行いながら、介護予防事業の推進・重度化防止のための事業推進・介護給付適正化事業の推進を～笑って・動いて・つながって～の基本理念を基に取り組んでいきたいと思います。





## 徳之島

### くらし・しごとサポートセンター



ひとりで悩んでいませんか？

相談無料

- 仕事をやめて収入がなくなってしまった...
- どんな仕事に向いているかわからない...
- お金のやりくりがうまくいかない...
- 借金をどうしたらいいだろう...
- 勉強についていけない...
- 子どもの教育費が心配...
- 家族の生活、将来が心配...
- 周りに相談できる人がいない...
- 生きていくのも辛い...

しごと...

生活の悩み不安

こども...



病気・介護...

ひとりで抱えこまずに  
まずはご相談ください。

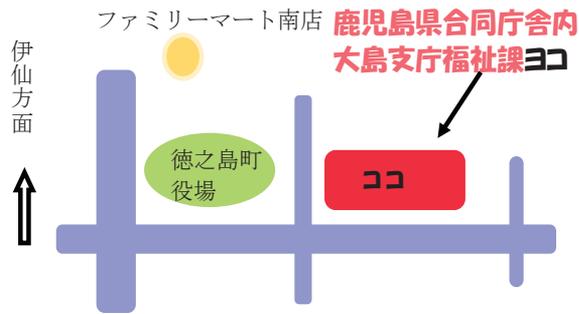
#### 徳之島くらし・しごとサポートセンターとは？

生活全般にわたり困りごとの「なんでも」相談窓口です。誰もが当たり前、その人らしく地域で暮らすことができるよう、問題を抱えている人を独りぼちにせず、専門の相談員が問題の解決に向けて一緒に考え、それぞれの状況に応じた生活状況改善プラン、就労支援プランなどを作成し継続的に支援します。

「どこに相談していいかわからない」「誰に聞いたらいいかわからない」  
そんな困りごとは、徳之島くらし・しごとサポートセンターへご相談ください。

**お気軽にご相談ください。**

相談受付 月～金 8時半～12時  
 訪問相談 月～金 13時半～17時半  
 天城町役場（水）13時半～16時半  
 伊仙町役場（金）13時半～16時半



**徳之島くらし・しごとサポートセンター**  
 大島支庁・徳之島事務所福祉課 ヨコ  
 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津7216

TEL 0997-82-1122  
 土日専用080-8388-1635 (8時半～17時15分)  
 FAX 0997-82-1123





## 町税・料金・水道料金がコンビニで納付できます

町では町税・料金・水道料金のコンビニ収納を平成31年4月より利用開始しました。日中、金融機関等へ納めに行く時間が取れない方も、夜間や休日の納付ができます。

### ○ 納付できる種類

町税：町県民税（普徴）、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税（普徴）

料金：介護保険料（普徴）、後期高齢者保険料（普徴）、保育所利用料、住宅使用料  
A Y T 利用料

水道：簡易水道料金



### ○ 納付できるコンビニ

ファミリーマート、セブンイレブン、ローソン、サークルKサンクス他全国60,000以上のコンビニ店舗

※ 注意点

- ・ 1 件の納付金額が 30 万円を超えるもの
- ・ バーコードの記載が払込取扱票にないもの
- ・ 破損、汚損などによりバーコードが読み取れないもの
- ・ 納付種類によっては納期限が過ぎているもの

さらに、PayBアプリ、LINEアプリ（LINE Pay）、楽天銀行アプリによりリアルタイム納付が可能になります。

※ 1 楽天銀行アプリについては楽天ポイントがたまります。

※ 2 LINEアプリ（LINE Pay）については 1 件の納付金額が 5 万円以下

また、これまでどおり金融機関及び天城町役場会計課にて納付できます。

なお、今後も、町税・料金・水道の納期内納付に御協力くださいますよう、重ねてお願いします。



## 平成31年4月1日から県税の窓口が変更されます

大島支庁県税課徳之島町駐在（徳之島事務所1階）は、平成30年度末をもって廃止されました。

平成31年4月1日からの新しい県税窓口は、下記の大島支庁県税課となります。

皆様にはご不便をおかけしますが、よろしく申し上げます。

なお、今後も、県税の納期内納付に御協力くださいますよう、重ねてお願いします。



### < 平成31年4月1日以降の県税窓口 >

鹿児島県大島支庁県税課

【住所】 〒 8 9 4 - 8 5 0 1 奄美市名瀬永田町 1 7 - 3

【電話】 (0997) 57-7225





## 中小企業・小規模事業者の皆様へ

2019年10月1日から始まる消費税軽減税率制度への対策はお早めに！！

### 消費税の軽減税率対応のための レジ・システム補助金【第3版】



消費税の軽減税率制度開始とレジ補助金期限である  
**2019年10月が迫ってきました！！**

レジや受発注システムを導入・改修する方への  
国の補助制度があります。

お問合せは以下の番号(※)まで  
**0120-398-111 (通話料無料)**

※独立行政法人中小企業基盤整備機構が設置する軽減税率対策補助金事務局になります。

補助金の詳細は以下のURLをご覧ください。

<http://kzt-hgo.jp/>

QRコードは  
こちら！



CASHLESS

中小・小規模事業者向け

本制度は予算が  
成立した場合に  
施行されます。

＼キャッシュレスでの支払いに対して/  
**ポイント還元を  
実施します！**

《キャッシュレス・消費者還元事業》

実施期間 **2019年10月1日～2020年6月**



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

お問合せ先

ポイント還元問合せ窓口(中小・小規模事業者向け)

**0570-000655**

ナビダイヤル 受付時間: 平日10:00～18:00(土・日・祝日を除く)  
※一般電話からは市内通話料金で 《2月6日以降開設予定》  
ご利用いただけます。

本制度の詳細については、ホームページに掲載予定!

**<https://cashless.go.jp>**

《3月以降開設予定》

#### 【制度概要】

- 10月1日以降、対象の店舗でキャッシュレス支払いをした方にはポイント還元等を実施。
- 対象店舗への、キャッシュレス決済の導入を支援。

中小・小規模事業者の皆様を支援します!

#### 対象キャッシュレス手段

電子的に繰り返し利用できる決済手段  
(例:クレジットカード、電子マネー、QRコード等幅広く対象)

#### 決済導入支援

事業者の皆様は端末導入の  
ご負担はありません!

制度を使えば  
決済手数料3.25%以下!  
さらに実施期間中は、国がその1/3を補助。



天城町 絆 コミュニティサイト  
<http://www.yui-amagi.com/>



スマホでいつでもどこでも

広報あまぎ





## 世界自然遺産の推薦書を提出

平成31年2月1日(パリ現地時間)、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の推薦書が日本政府よりユネスコ世界遺産センター事務局へ提出されました。今後のスケジュールと推薦内容の概要は以下のとおりとなります。引き続き、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※推薦書は「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産候補地ホームページ ([kyushu.env.go.jp/naha/amami-okinawa/](http://kyushu.env.go.jp/naha/amami-okinawa/))」でご覧いただけます。

### ■今後のスケジュール(最短の場合)

- 2019年2月1日 ユネスコ世界遺産センターへ世界遺産推薦書を提出
- ↓
- 2019年夏～秋 世界遺産委員会諮問機関(IUCN)による現地調査及び評価。
- ↓
- 2020年夏ごろ 世界遺産委員会における審議(世界遺産登録の可否決定)

### ■推薦内容の概要

・世界遺産として顕著な普遍的価値

評価基準	内容
X 生物多様性	島の成り立ちを反映した独自の生物進化を背景とした、国際的にも希少な固有種に代表される生物多様性保全上重要な地域である。

### <評価基準 X.生物多様性>

推薦地は、イリオモテヤマネコ、アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナなど、IUCNのレッドリストの絶滅危惧種95種(そのうち75種は固有種)を含む陸生動植物の生息・生育地である。また、その地史を反映し遺存固有種と新固有種の多様な事例がみられ、世界的にみても生物多様性の生息域内保全にとって極めて重要な自然の生息・生息地を包含した地域となっている。

・推薦地

徳之島の推薦区域

↓ 推薦4地域



【問い合わせ】企画課 85-5171・5178





## 燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020



### ボランティア募集の お知らせ



1. 募集期間 2020年7月31日（金）まで
2. 募集内容 受付・案内・美化清掃・駐車場整理など
3. 募集要件 活動日に小学5年生以上の方

#### ■ボランティア活動日■

リハーサル大会 2019年11月16日（土）～11月17日（日）

#### ■本大会■

2020年10月3日（土）～10月4日（日）

役場商工水産観光課に登録申込書があります。奮ってご応募下さい。

お問い合わせ先：天城町国体実行委員会 電話：85-5149



## 奄美海上保安部からのお知らせ

ゴールデンウィークもマリンレジャーを安全に楽しむために

奄美群島では、ゴールデンウィークから釣りやダイビング・スノーケリング等のマリンレジャーが活発であり、例年、事故も発生しています。

次の点に注意して、安全にマリンレジャーを楽しんでください。

#### [注意事項]

- ・スノーケリング等の基本を習得しましょう。
- ・体調が悪いときや飲酒をしたときはマリンレジャーをしない勇気を持ちましょう。
- ・離岸流が発生しやすい場所や危険が潜む地形などを把握しましょう。
- ・単独行動を避け複数で行動しましょう。
- ・ライフジャケットを正しく着けメンテナンスをしましょう。

#### [期間]

ゴールデンウィーク安全推進活動期間 4月27日（土）～5月6日（月）

[お問い合わせ先] 奄美海上保安部 0997-53-5569





## 奄美群島振興開発基金からのお知らせ

■ 奄美基金は、奄美群島の産業振興を図るため、融資業務・保証業務により事業者の方々への事業資金の円滑な供給に努めています。

### ★★ 奄美基金の主な融資制度のご案内 ★★

資金名	資金用途	貸付の限度額	貸付期間	貸付利率
農・林業振興資金 (サトウキビ、畜産、果樹園芸、野菜、花き等) (樹苗、椎茸、木材生産加工)	設備資金	個人 1,000万円 法人 1,500万円	5~15年	0.30~0.45%
水産業振興資金 (漁船取得、改造、装備購入、養殖施設整備、 共同利用施設等)	設備資金	個人 2,000万円 法人 4,000万円	5~10年	0.45~0.95%
観光関連産業振興資金 (民宿、ホテル、遊漁船、ダイビング、観光ガイド、 土産品製造等)	設備資金 運転資金	個人・法人 1億円	設備 20年 運転 7年	設備1.36~2.65% 運転1.76~2.76%
流通・加工業等振興資金 (一次産業従事者の運転資金) (農林水産物等の流通加工業等)	設備資金 運転資金	個人・法人 1億円	設備 20年 運転 7年	設備1.36~2.65% 運転1.76~2.76%
地域資源等振興資金 (大島紬、黒糖焼酎等の特産品並びに地域の資源・ 技術等を活用した商品の製造・販売業)	設備資金 運転資金	個人・法人 1億円	設備 20年 運転 7年	設備1.36~2.65% 運転1.76~2.76%
地域活性化・雇用促進資金 (情報通信産業、企業立地、雇用の促進等地域活 性化に資する事業)	設備資金 運転資金	個人・法人 1億円	設備 20年 運転 7年	設備1.36~2.65% 運転1.76~2.76%



※ 貸付金利は、平成31年1月17日現在のものです。

※ 貸付期間及び貸付利率は資金用途などにより異なります。また融資にあたっては所定の審査が必要となります。(詳細については奄美基金までお問い合わせ下さい)

■ 保証業務は、事業者の方々金融機関から借入を行う際に、奄美基金が信用保証を行うことで円滑な資金供給を支援する制度です。(詳細については奄美基金、各金融機関、各商工会等へお問い合わせ下さい。)

### ■ お問い合わせ先

独立行政法人奄美群島振興開発基金 徳之島事務所  
〒891-7101 大島郡徳之島町亀津2928-4  
電話番号 0997-82-0309 FAX 0997-82-2362  
HPアドレス <http://www.amami.go.jp>  
Eメール [kikin@amami.go.jp](mailto:kikin@amami.go.jp)  
(Eメールからもご相談を受け付けていますので、ご利用下さい。)





## 特別障害者手当・障害児福祉手当のお知らせ



精神又は身体に著しく重度の障害を有するために、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅の方の生活を向上させるために支給される手当です。

ただし、福祉施設に入所している方や長期間入院している方は、支給の対象外となる可能性があります。

また、受給資格者、配偶者、扶養義務者の前年の所得額によっては、その年の8月から翌年の7月までを一つの期間として支給を停止する場合があります。

■特別障害者手当（20歳以上の方）：月額27,200円（平成31年4月改定）

■障害児福祉手当（20歳未満の方）：月額14,790円（平成31年4月改定）

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

### ■問合せ先

鹿児島県徳之島事務所福祉課

TEL 82-0233

#### わたしたちのまち

（2月1日現在）

世帯数（戸）	3,119
総人口（人）	6,028
男	3,091
女	2,937

（1月届出分）

出生（1）	死亡（11）
転入（10）	転出（13）

#### わたしたちのまち

（3月1日現在）

世帯数（戸）	3,116
総人口（人）	6,025
男	3,088
女	2,937

（2月届出分）

出生（2）	死亡（7）
転入（16）	転出（14）

（元島）友美	（太山）綾乃	（重山）繭子	（瀬戸口）寛	（早川）博美	（豊藏）茂森	（宮井）綾美	（中水）翔午	（仁科）綾泰	（浅野）泰輝	（琉）愛梨	（笹嶺）光生	（陽田）亜矢子	（政一誠）松原
（浅間）浅間	（浅間）浅間	（浅間）浅間	（沖繩）始良	（愛知）愛知	（瀬瀧）瀬瀧	（大阪）大阪	（浅間）浅間	（平土）平土	（浅野）浅野	（平土）平土	（徳之島）徳之島	（天城）天城	（松原）松原

いつでもおしあわせに

中山 桜妃	徳 ともも	向井 幸智代	氏名
英樹	拓也	直幸	保護者
兼久	天城	浅間	住所

おた  
めん  
でじ  
ょう  
う

町民の動き





## 元号改正に伴う保険証の有効期限の取り扱いについて

★現在、お持ちの保険証は、有効期限が、**天城町国保加入の皆様へ**

**平成31年7月31日**となっております。



**5月に元号改正**されましても

**お持ちの保険証切り替えの必要はありません。**

そのままご使用ください。

**医療機関等に周知いたします**



### 香典返し

平成31年1月1日から平成31年2月28日までの届出分のうち承諾を得た方のみ掲載しています。

故人	寄付者	金額
山田 悦郎	山田 隆子	3万
福 ウメ	福 健吉郎	3万
高 茂良	高 恵子	3万
大久 安浩	大久 整子	2万
柚木 ヨシ	柚木 信一郎	3万
田尻 恵美子	田尻 敬郎	2万
武原 勝志	武原 輝子	2万
森田 健一	森田 末子	3万
中 謙二	中 宣子	2万
中田 雅也	中田 千夏	3万
吉川 一夫	吉川 圭子	3万

### ごめいふくをお祈りします

氏名	年齢	住所
春山 文範	(96)	松原
碓 勝彦	(61)	岡前
嶺山 隆茂	(89)	兼久
中水 廣吉	(87)	瀬滝
田尻 恵美子	(87)	天城
大久 安浩	(60)	浅間
高 茂良	(82)	与名間
森田 健一	(76)	天城
柚木 ヨシ	(94)	天城
稲村 光男	(64)	松原
泉 哲之助	(94)	与名間
堀江 宏延	(69)	浅間
中田 雅也	(45)	瀬滝
宮 宗四郎	(68)	松原
藏 久子	(76)	浅間
永岡 敏裕	(75)	瀬滝





兄ちゃん、姉ちゃんみたいに、元  
気いっぱい大きくなってね♪

徳 恋雪ちゃん  
竜太 天城  
平成 29年 12月 3日



今日もごきげんさん

明山 葵ちゃん  
大志 岡前  
平成 30年 3月 17日



大人しめの女の子になあれ♥

森山 もあちゃん  
大希 天城  
平成 30年 2月 2日



毎日笑顔で元気に育ってね!

福田 美月ちゃん  
康実 松原上区  
平成 30年 3月 28日



元気いっぱい、笑顔いっぱい、  
みんなに愛される女の子になっ  
てね!

福田 結菜ちゃん  
光宏 松原上区  
平成 30年 3月 20日



いつも可愛い笑顔で癒しをあり  
がとう☆

石 大翔ちゃん  
卓矢 岡前  
平成 30年 2月 12日



いつもニコニコ笑顔ありがとう  
♥すくすく大きく育ってね!

藤本 真碧ちゃん  
将喜 瀬滝  
平成 30年 1月 10日

# まちのアイドル

ご掲載希望の方は下記までご連絡ください。

☎85-5178

## 町政の動き

平成30年1月

平成30年2月

31 木	30 水	28 27 26 月 日 土	25 金	24 22 21 20 木 火 月 日	18 金	17 木	16 水	15 火	11 金	10 木	9 7 月 水	6 日	4 金	3 2 水	1 火	日・曜日・諸会議・行事等報告	
徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)
徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)	徳之島建設業協会(徳之島市)

